

英国における国民投票の結果による EU 離脱に関する党コメント

平成 28 年 6 月 24 日

英国における国民投票の結果、英国の EU 離脱が確実となり、キャメロン首相が辞意を表明した。統合の深化と拡大を進めてきた EU は、今般の英国国民の決定により、これまで経験したことのない大きな試練に直面することとなる。

但し、英国の EU 離脱は、英国国民が統合か自立かという極めて重大な課題に取り組んだ国民投票の結果であり、これを EU 統合を過去に戻すものとして否定するのは一面的に過ぎる。英国が、一国主義に陥ることなく世界の諸国と新しい関係を取り結ぶことにより、次代に相応しい国際秩序が再構築されて行くことを期待したい。

なお、短期的には英国の EU 離脱が世界経済に与える影響は予断を許さず、日本にも、これまで以上に丁寧かつ大胆な経済運営が求められる。自公政権によるアベノミクスへの対案として、おおさか維新の会は、増税にも赤字国債にも頼らない構造改革や規制緩和並びに行財政改革を中心とした「維新ノミクス」の実行を政府に求めてまいりたい。

おおさか維新の会幹事長 馬場伸幸